

格付引き上げに関するお知らせ

日本格付研究所の信用格付 長期「BBB+」・見通し「安定的」に

古河機械金属株式会社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、株式会社日本格付研究所（以下、JCR）より取得している信用格付について、2022年10月7日付で下記の通り変更がありましたのでお知らせいたします。

JCRの格付対象

	変更前	変更後
長期発行体格付	BBB	BBB+
格付見通し	ポジティブ	安定的
国内CP格付	J-2	J-2（据置）

変更に係る格付事由等の詳細については、JCR ウェブサイトをご参照ください。

JCR ウェブサイト：<https://www.jcr.co.jp/ratinglist/corp/5715>

当社が目指す格付戦略を核とした最適資本構成の追求について

当社グループは、創業 150 周年を迎える 2025 年度のありたい姿として制定した 2025 年ビジョン「FURUKAWA Power & Passion 150」を達成するため、その方針の一つとして掲げた経営基盤の整備の中で、堅固な財務基盤の確立を目指しています。更に、当社グループは、2025 年ビジョンの第 2 フェーズとなる「中期経営方針 2022」（2020 年 5 月 8 日発表）において、財務戦略に関する方針として格付戦略を核とした最適資本構成の追求を掲げ、「2025 年ビジョンの最終年度となる 2025 年度には、日系格付機関による発行体格付で現行比ワンノッチアップとなる BBB+ 以上の取得が可能となる財務水準^(注1)をイメージし、今後とも継続して財務の健全性向上に努めていきます。」としてきました。

今回の JCR の格付引き上げにより、2025 年度における格付けの目安としてきた「BBB+」を取得することができましたが、金融情勢によらず必要な資金の調達を可能とするため、引き続き堅固な財務基盤の確立を目指していきます。

(注 1) 2025 年度の財務水準イメージ

デット・エクイティ・レシオ ^(*1)	0.6 倍～0.7 倍程度
有利子負債/EBITDA 倍率 ^(*2)	4 倍台

(*1) デット・エクイティ・レシオ = 有利子負債（期末） ÷ 自己資本（期末）

(*2) 有利子負債/EBITDA 倍率 = 有利子負債（期末） ÷ （営業利益 + 減価償却費）

2025 年ビジョン、中期経営計画 2022 等の経営計画について

<https://www.furukawakk.co.jp/ir/policy/plan.html>

以上

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：明治 8 年（1875 年）8 月

設立：大正 7 年（1918 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,804 人 〈単独〉204 人 [2022 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>